

### 市行政は原点回帰し、現実 を見据えた責任ある行動を

齋藤 詔治



**問** 美南駅東口周辺土地区画整理事業について

①保留地処分金等で地権者への負担軽減として清算金の交付等は。②美南駅前の市所有地は、市民のもので。公正・公平な事業実施を。③吉川市が土地明渡し請求の裁判を起こしているながら和解を求める事態に。取下げるべきでは。

**答** 清算金を交付する事はありません。裁判は和解への努力をしています。取下げては問題解決にならず、審議が行われています。

**問** 吉川市農業パーク基本構想(素案)は、三輪野江地域以外の農用地で実施すべきでは。三輪野江地域は三郷インターがフルインター化され、これに基づき周辺開発が容易になります。

**答** 農商工一体となった持続可能な産業振興を図る為に、産業まちづくり地域に指定をします。

**問** 東埼玉資源環境組合吉川第2 処分場の活用は。

**答** 市ではスポーツ施設の一会場として検討。

**問** 本年度予算、市民税・固定資産税の収入が前年度より3億2千9百万円の減収に。

**答** 市全体では、税制改正や固定資産税の評価替えの影響や新型コロナウイルス感染症による個人市民税の減収が見込まれます。

### 多くの事業計画、 進め方と市の財源は

遠藤 義法



**問** ①吉川美南駅東口周辺開発の市公共施設・公園等整備内容。②三輪野江農業パーク構想の取り組みと情報開示。③旧市庁舎跡地の利活用。④東埼玉専用道路建設に伴う、市道の計画と地元説明会開催は。⑤防災センター建設計画と住民説明会の実施。⑥財源見通しは。

**答** ①商業ゾーン南側の公共施設(約3km<sup>2</sup>)は、検討委員会で話し合い令和3年度中に基本構想と基本計画を作成する。地区中央の公園は、意見を反映、計画案の作業を進めていく。②地元・地権者の同意が前提。農業パークを基本構想案としてパブリックコメントを行い、市民、議会にも丁寧に説明させていただく。③地域コミュニティを支える福祉的拠点機能が必要。今後予定しているアンケート調査などを踏まえ、施設や民間活用を検討していきたい。④国交省は、東埼玉専用道路の設計を進めており、越谷総合公園川藤線について関係機関と協議、その中で地元説明会を開催していきたい。水防センターは、江戸川防災ステーション計画と合わせて地域住民と意見交換したい。⑦市税の動向、地方債の活用など勘案する。

### 三輪野江地区農業パークは しっかりと検討を

吉川 敏幸



**問** 国土交通省のホームページにも公表されている市の農業パーク整備事業。民間事業者からの基礎概要が欲しいとの質問に、市は「当地区は一部水田地帯が残っているが、大部分は住宅及び産業廃棄物施設が占めている」と回答している。このような土地が農業パークに向いていると思っているのか市の見解を伺う。

**答** 圃場であることには変わりはない。これから事業区域、規模等を検討するにあたり、考えていかなければならないところ。立地的視点から見れば、フルインターができ、白地地区であることから、当地区に整備すべきと考える。

#### ◆軽トラ市で農業生産者に安定した収益と地域の活性化を

**問** 地元生産者の所得支援、消費者も新鮮で安心、安価な地元野菜を食することができるなど地域活性化のメリットがある軽トラ市の開催について市の見解を伺う。

**答** 今年度立ち上げた吉川市農業活性化検討会議の中で、朝市や夕市などの提案も出た。今後、実現に向けて検討していく。

### 土壌を守って健全なまちへ 学校給食を起爆剤に！

岩田 京子



**問** 3分の1が農地の吉川市では、土壌を守ることは街づくりそのものとするが、どのようにしたら土壌は守れると思うか。市の見解はまだないので、環境課・農政課の視点で部長個人の考えをお聞きしたい。

**答** 土壌に関しては大気や水と同様、生態系の多様性を構成する環境要素の一つ。生物多様性の観点でも、重要な役割に脚光を浴びてきた。土壌の大切さを市民にも啓発していきたい。

**答** 農地は治水・環境保全に貢献している。農地を守ってきたことが、美しい田園風景を創出し、一定の評価をいただいている。生物多様性を意識して土づくりをする手法に有機農業がある。市内にも有機栽培の生産者が数人いる。

農業経営とバランスよくやっていくのも大切で、人・農地プラン等で今後の活用や保全について地域の方々と考えていきたい。

**問** 有機とは違うが、減農薬の特別栽培米が今年に入って1か月間、学校給食に活用された。差額60万円の処理についてと、事業継続の予定は。

**答** 差額は発生していない。また次年度、事業を継続する予定はない。